

平成26年10月10日

## 「平成26年度学校評価アンケート(保護者・生徒)」集計結果について(報告)

宮城県角田高等学校

今年度も県統一の共通質問項目(13項目)でのアンケートを実施いたしました。今回のアンケートの結果は、本校の教育活動の改善とともに、県全体でも集約され、県全体の改善にも資するものです。

さて、「平成26年度学校評価アンケート」の集計結果をご報告いたします。今年度は在籍生徒523名中、463名の保護者の皆様からご回答をいただきました。保護者の皆様からの今年度の回答率(88.5%)は、昨年度の回答率(77.7%)と比較して大幅に改善されており、皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

なお、「学校として、いじめ問題に対する取組方針が保護者と共有されている[日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる]」は、昨年度から新たな項目として設けられております。

以下は、「アンケート集計概要・集計結果」及び「分析」となります。

1. 実施期間 …………… 平成26年8月28日(木)～9月11日(木)
2. 保護者アンケート回答率(回答者数) … 88.5%(463名)【昨年度 77.7%(414名)】
3. 調査項目および集計結果

### 平成26年度学校評価アンケート集計結果

【上段 保護者／下段 生徒】

	調査項目 ※[ ]内は、生徒に対するもの	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	お子さんの[生徒にとって、]学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	7.7% [9.5%]	69.9% [64.4%]	21.1% [21.5%]	1.3% [4.6%]
2	生徒に対して[生徒にとって]、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	18.7% [23.8%]	67.1% [59.4%]	13.5% [15.1%]	0.7% [1.8%]
3	お子さんの[生徒にとって、]進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	15.3% [24.2%]	63.4% [56.3%]	20.7% [17.2%]	0.7% [2.3%]
4	生徒に対して[生徒にとって]、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	10.3% [23.6%]	65.1% [55.4%]	22.6% [18.0%]	2.0% [2.9%]
5	学校として、部活動は活発に行われている。	44.6% [52.2%]	48.1% [39.9%]	6.7% [7.3%]	0.6% [0.6%]
6	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	19.7% [31.9%]	67.6% [56.7%]	11.2% [9.9%]	1.5% [1.5%]
7	お子さん[自分]にとって、有意義な学校行事がある。	28.8% [30.8%]	59.7% [53.2%]	10.2% [13.7%]	1.3% [2.3%]
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	11.8% [17.8%]	59.0% [57.9%]	27.7% [21.0%]	1.5% [3.3%]
9	保護者[生徒]に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	23.4% [26.9%]	54.0% [59.2%]	19.5% [13.1%]	3.1% [0.8%]
10	保護者に対して、学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。	17.0% [30.0%]	62.6% [59.8%]	18.9% [8.5%]	1.5% [1.7%]
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	14.3% [21.3%]	61.0% [49.1%]	20.0% [23.0%]	4.7% [6.6%]
12	学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている[日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる]。	4.4% [17.8%]	54.1% [53.9%]	35.0% [24.2%]	6.5% [4.1%]
13	お子さんの[自分にとって、]学校生活は充実している。	27.0% [34.3%]	63.2% [49.3%]	8.7% [13.5%]	1.1% [2.9%]

※ [ ]内は、生徒の回答結果である。

#### 4-1. 保護者のアンケート集計結果から

保護者の皆様からの回答について全体的な傾向を見ていきますと、肯定的回答が全質問項目の平均で79.8%と、昨年度の80.4%より0.6ポイント下降しており、学校として現状分析と検討、そして更なる改善が必要と受け止めております。

はじめに、肯定的回答についてです。Q2「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている」、Q5「学校として、部活動は活発に行われている」、Q6「学校として、生徒会活動は活発に行われている」、Q7「お子さんにとって、有意義な学校行事がある」、Q13「お子さんの学校生活は充実している」の5つの質問項目においては、いずれも肯定的回答が85.0%を超えました。これらの項目につきましても、否定的回答もあることを踏まえながら、皆様からいただきました評価を追い風に、日々の教育活動に取り組んで参ります。

次に、否定的回答割合が高い4項目を取り上げます。

- (1) Q3「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている」の否定的回答(21.4%)が昨年度より3.7ポイント上がりました。日頃の学習活動やHR活動における指導、進路指導等につきまして、記述欄のご意見も参考に、課題を分析・検討し改善を図って参ります。
- (2) Q4「教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている」では、生徒の否定的回答(20.9%)は昨年度比で2.5ポイント下がっておりますが、逆に、保護者の皆様の否定的回答(24.6%)が昨年度より8.0ポイント上がりました。学校としましては、スクールカウンセラー(SC)が一月3日間・年間30日間来校し、生徒とのカウンセリング、SCと担任等によるケース会議等を実施しているほか、「ほけんだより」や「カウンセリングルームだより」を発行しております。更なる情報発信等に努めて参ります。
- (3) Q11「校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている」の否定的回答(24.7%)が昨年度より6.5ポイント上がりました。来年度8月から(平成28年10月まで(予定))の体育館の改修工事は決定しております。しかし、他の施設設備等につきましては、県の財政事情や県内県立学校施設状況への優先順位等もあることから、容易には行かない面がありますが、可能なところから努力して参ります。
- (4) Q12「学校として、いじめ問題に対する取組方針が保護者と共有されている」の否定的回答(41.5%)割合が、肯定的回答(58.5%)に対して拮抗しました。学校では、昨年度同様、学校安全HR(7月)の項目の1つに「いじめのない学校生活」を取り上げたほか、昨年度は「いじめ実態把握に関する調査」を7月、11月の2回実施しましたが、今年度は4回(前期2回、後期2回)実施し、早期発見と対応に努めているところです。昨年度の否定的回答割合より3.6ポイント減っているものの、依然高い数値ですので、保護者の皆様への情報提供の在り方等について検討して参ります。

自由記述欄につきましては、進路・学習指導、進路等の情報提供、情報提供手段としてのメールの活用、駐車場の確保、施設設備、三者面談時の教員の対応、文化祭(仮装行列)、生徒の人間関係等に関する改善要望等のご意見を多数お寄せいただきました。今後、全職員が情報を共有化して、それらの改善に努めて参ります。また、自由記述の中に、「質問項目がわかりにくい」「答えづらい」といったご意見がありました。13の質問項目内容につきましては、全ての県立高校で共通内容となっているものですが、学校からの情報提供不足により回答しづらい項目があったと思います。今後は、各種たより等の情報発信の改善に向け検討いたします。

## 4-2. 生徒のアンケート集計結果から

生徒諸君からの回答について全体的な傾向を見ていきますと、肯定的回答が全質問項目の平均で 81.4%と、昨年度の 76.0%より 5.4 ポイント上昇しており、昨年度と比較し、13 項目中 12 項目で肯定的回答の割合が上昇しております。しかし、否定的回答割合が高い項目もあることを踏まえ、現状分析・検討・改善に取り組んで参ります。

生徒の肯定的回答につきましては、Q3「生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている」以外の 12 項目全てにおいて昨年度より上昇しております。特に、Q1「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている」、Q6「生徒会活動は活発に行われている」、Q7「有意義な学校行事がある」、Q8「地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる」、Q9「生徒に対して災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」、Q13「自分にとって学校生活は充実している」の 6 項目は、昨年度と比較して、いずれも 5.0 ポイント以上上昇しております。しかし、否定的回答の割合が高い項目もあることを忘れずに、生徒一人ひとりの現状を把握し、生徒が充実した学校生活を送ることができるように努めていきたいと考えております。

否定的回答につきましては、Q1「学ぶ意欲を引き出し学力が身につけられるような授業が行われている」(26.1%)、Q11「校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されている」(29.6%)、Q12「学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる」(28.3%)では、いずれも昨年度より否定的回答は下降したものの、依然として 25.0%を超えています。これらにつきましては、真摯に受けとめ、改善に向けて取り組んで参ります。

自由記述欄につきましては、施設設備（中島校舎含む）、授業改善（教員の熱意の濃淡含む）、学校行事、生徒同士の人間関係への対応等への改善要望等がありました。生徒諸君からの記述内容を学校内で共有化し、改善に向けて取り組んで参ります。

## 5. 終わりに

保護者の皆様並びに生徒諸君からのアンケートへのご協力に感謝を申し上げます。

今後も、教育内容・教育環境等の改善に資するため、学校に対する率直なご意見・ご要望等をお寄せいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

誠に有り難うございました。